

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	1
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第2節	魅力あるまちへのイノベーション

点検 評価 項目	2 環境都市創造への取組					
	(2)循環型社会の確立					
	①3R活動の推進					
具体的な 取組内容	リサイクルプラザを活用するなど、市民が主体となった3R活動を推進するため、「まいづる環境市民会議」等の市民団体が主催するイベントや講習会に対して支援します。					
数値目標	一般廃棄物のリサイクル率					
	基準数値	15.6%	H30年度末 目標数値	25.0%	H28年度 実績数値	14.10%
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

1 子供向けごみ減量啓発ワークショップ「買い物ゲーム」の支援。(まいづる環境市民会議)
 ※6月3日 朝来小学校4年生38名

2 まだ使えるおもちゃを持ち寄って必要な人に譲る「おもちゃ交換会かえっこバザール」の支援。(まいづる環境市民会議)
 ※5月22日:約200名 11月13日:約520名(環境フェスタ)

3 小学校などにおいてエコキャップの回収を行い、その売却益を、世界の子どもたちへのワクチン提供のため「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付。また、同委員会から講師を招き、小学校においてその活動の意義などに関する出前授業を支援。(まいづる環境市民会議)
 ※市内小学校11校、市庁舎(本庁、西支所) 計1,520kg回収
 ※6月30日余内小学校5・6年生135名 7月1日朝来小学校4年生38名 倉梯小学校6年生78名

4 環境フェスタでの啓発。(まいづる環境市民会議、まいづるクリーンキャンペーン実行委員会)
 ※11月13日:900名

①まいづるクリーンキャンペーンブース
 展示「日常ごみを減らそう」、「環境クイズ」の実施、写真タペストリー展示「みんなの問題・海のごみ」

②まいづる環境市民会議循環型プロジェクトチームブース
 風呂敷バックづくり体験

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

市民が主体となった3R活動の推進に対する支援を継続し、市民・事業者・市が一体となった3Rの推進に取り組めます。

担当課	生活環境課
-----	-------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	2
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第2節	魅力あるまちへのイノベーション

点検評価項目	2 環境都市創造への取組					
	(2)循環型社会の確立					
	②環境美化活動の推進					
具体的な取組内容	ポイ捨てをしない・させない・許さない環境づくりのため、まいづるクリーンキャンペーンやアダプトプログラムなどのボランティア清掃を支援するとともに、エコ・ウォッチングを兼ねた清掃イベントなど、多くの市民が楽しみながら参加できる取組を進めます。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末目標数値	—	H28年度実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

- 1 まいづるクリーンキャンペーンの支援。
参加者 4個人、23事業所、60自治会、55その他団体 延べ7,873人参加
- 2 ビーチコーミング&地引き網体験の支援(まいづるクリーンキャンペーン実行委員会)
28年度神崎海岸において参加者75名で開催の予定であったが荒波のため中止
- 3 アダプトプログラム(環境美化里親制度)の支援。
参加者 15か所、26団体、4家族、3個人 延べ676人が参加
- 4 舞鶴の川と海を美しくする会の支援
参加者 28地区の会と53の事業所 延べ14,700人が参加
- 5 自治会等随時のボランティア清掃の支援。
- 6 自治会等に啓発看板を提供
※散乱ごみ対策事業費10,928千円(予算)
※環境美化里親制度推進事業費349千円(予算)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

各地域で行われている清掃活動への支援を継続し、散乱ごみの回収活動を進め、まちの美化を推進することにより、ポイ捨てをしない・させない・許さない環境づくりに取り組む。

担当課	生活環境課
-----	-------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	3
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	みんなで支え合う地域づくり戦略
第1節	支え合いの基礎となる家庭の構築と生活の支援

点検評価項目	2 健康な心身づくり					
	(2)生活習慣病等の疾病予防の推進					
	④国民健康保険事業に係る疾病予防の推進					
具体的な取組内容	特定健診の啓発など疾病予防を推進し、受診率の向上を図ります。					
数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 目標数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

受診率向上のため、はがき及び電話による受診勧奨を実施

1 はがきによる勧奨
これまでの受診履歴の有無に応じた2パターンから、年代別等に細分化し6パターンに分けるとともに、イラストを使用した勧奨を実施

2 電話による勧奨
新たに電話による勧奨を実施

【参考】平成28年度の法定報告受診率 38.9%(平成27年度40.3%)
※ 法定報告:国の基準により年度中の資格喪失者を除いた数値

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

特定健診は医療保険における健康づくりの基本となるもので、これまでも、勧奨はがき、広報まいつるなどを通じて受診勧奨に努めてきたところです。
今後も、受診率の低い若年層、電話勧奨の際のアンケート調査の結果で通院中のため健診を受けないという層、これら被保険者の特性に応じた個別の受診勧奨を進めることで、受診率の向上を図ります。

担当課	保険医療課
-----	-------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

		No.	4
第1編	まちづくり戦略		
第3章	次代を担う人材の育成戦略		
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり		

点検 評価 項目	1 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり					
	(1) 仕事と家庭の両立支援					
	①保育サービスの充実					
具体的な 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・希望するすべての人が安心して子どもを預けて働けるよう保育サービス(通常保育、延長保育、障害児保育、一時預かり、病児保育)の充実に努めます。 ・新たな保育サービス(休日、夜間保育など)の実施を検討します。 ・民間保育園と連携し、保育の質の向上に努めます。 					
数値目標	待機児童数					
	基準数値	0人	H30年度末 目標数値	0人	H28年度 実績数値	0人
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

市内の保育所全15園において保育を実施するとともに、民間保育園に対し保育環境の充実のための支援を実施。(平成29年3月1日現在1,603名の児童を受け入れ)

1	(公立)保育所費	384,160千円	(3園)
2	(民間)保育委託事業費	1,259,801千円	(12園)
3	延長保育促進事業費補助	5,726千円	
4	保育所発達支援事業費補助	28,286千円	
5	一時預かり事業費補助	14,463千円	
6	保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助	6,388千円	(8園)
7	私立保育園運営費等補助	512千円	
8	保育所運営・人材確保基盤強化支援事業補助	20,116千円	(13園)
9	民間社会福祉施設職員特別健康健診費補助	368千円	(12園)
10	私立保育園看護師配置支援事業費補助	744千円	(2園)
11	保育所施設整備資金借入金利子補給金	1,826千円	(5園)
12	保育所業務効率化推進事業費補助	10,800千円	(10園)
13	病児保育支援事業費	10,324千円	(1か所)

舞鶴市乳幼児教育ビジョンに基づき、乳幼児教育の質向上研修や保幼小中連携研修、保幼小接続カリキュラム策定に向けた調査・研究、乳幼児教育ビジョンの普及・啓発を図る講演会や研修ニュースレターなどの発行等を実施。

- ・乳幼児教育ビジョン推進事業 8,855千円

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

待機児童ゼロの堅持や保育の質向上に向けては、保育人材の不足が課題である。このため、保育士の確保に向けて、市独自の処遇改善を実施するほか、潜在保育士の復職・就職を支援するため、実習研修の場を提供する。

また、保育所・幼稚園では、民間と公立が連携し、保育の質の向上を目的とした研修事業を実施し、保育士・幼稚園教諭のさらなるスキルアップを図る。

こうした取組により、0歳児から就学前児童の発達を見通した教育・保育を実施し、一人ひとりの子どもの発達や学びを担う、質の高い教育・保育の充実を図る。

担当課	幼稚園・保育所課
-----	----------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	5
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検評価項目	1 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり					
	(4) 幼稚園への支援と環境整備					
	① 幼児教育の振興					
具体的な取組内容	・子ども子育て支援新制度に沿って、親の就労等、家庭の状況にかかわらず、0歳児から就学前児童までの一貫した質の高い学校教育・保育の提供を推進します。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

舞鶴市乳幼児教育ビジョンに基づき、乳幼児教育の質向上研修や保幼小中連携研修、保幼小接続カリキュラム策定に向けた調査・研究、乳幼児教育ビジョンの普及・啓発を図る講演会や研修ニュースレターなどの発行等を実施した。（これらの事業は、文部科学省「幼児教育の推進体制構築事業」のモデル事業として採択を受けて実施している）

- ・公開保育・カンファレンスの実施 5回
- ・グループ研修の実施 5回
- ・保幼小連携研修の実施 3回
- ・保幼小中連携研修の実施 2回
- ・現地研修（大学付属幼稚園の研究会への参加等） 3回
- ・研修ニュースレター等の発行 11回
- ・保幼小接続カリキュラム研究（策定会議） 3回
- ・乳幼児教育ビジョンの周知・啓発
講演会2回、説明会2回、小学校出前授業1回、広報まいづる特集号1回
FMまいづる出演2回、日本保育学会シンポジウムでの報告・発表
保育・専門雑誌記事掲載、視察・調査受入等

※乳幼児教育ビジョン推進事業 8,855千円

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

本市が実施する研修が、平成29年度から始まった厚生労働省通知に基づくキャリアアップの指定研修として位置付けられるよう京都府と連携を図るとともに、研修事業についても保育士等の技能・経験の向上等に繋がるよう、さらに内容の充実を努める。
また、幼稚園が独自に取り組む質の高い幼児教育の推進につながる事業を支援する。

担当課	幼稚園・保育所課
-----	----------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	6
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検評価項目	1 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり					
	(4) 幼稚園への支援と環境整備					
具体的な取組内容	②幼稚園児世帯の負担軽減					
	・幼稚園での教育を希望する保護者の教育費の負担を軽減することにより、就園機会を確保し、幼児教育の普及を図ります。					
数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

幼稚園での教育を希望する保護者の保育料負担を軽減することにより、就園機会の確保に努めた。
 ・私立幼稚園就園奨励費補助 165,501千円 (12園、1,226人)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

幼児教育を受ける機会を確保することは重要であり、引き続き、国・府と協調し、就園機会の確保に努める。

担当課	幼稚園・保育所課
-----	----------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No. 7

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検評価項目	1 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり					
	(4) 幼稚園への支援と環境整備					
	③私立幼稚園への支援					
具体的な取組内容	・私立幼稚園への運営支援を行うことで、ゆとりとるおいのある教育環境の充実を図ります。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

私立幼稚園の幼児教育環境の充実のため、運営に係る経費のうち、特別に必要な経費に対しその一部を補助。

1	私立幼稚園すくすく育成補助	16,887千円	(7園)
2	私立幼稚園教育振興費補助	520千円	(私立幼稚園協会)
3	私立幼稚園同時在園減免補助	613千円	(12園)
4	私立幼稚園施設整備費補助	3,600千円	(4園)
5	私立幼稚園教育機器整備費補助	100千円	(1園)
6	特別支援教育研究助成費補助	105千円	(私立幼稚園協会)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

国・府と協調し、引き続き幼稚園教育の環境整備に努めるとともに、幼児教育の充実に向けた取組に対して支援・拡充を図る。

担当課	幼稚園・保育所課
-----	----------

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検評価項目	1 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり					
	(4) 幼稚園への支援と環境整備					
	④公立幼稚園の運営					
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先進高度な幼児教育を実践します。 ・幼小中一貫教育の研究を行います。 ・家庭及び地域の幼児教育の向上を支援します。 					
数値目標	基準数値	—	H30年度末目標数値	—	H28年度実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

平成28～29年度の2か年に舞鶴市教育委員会の研究指定園の指定を受けており、乳幼児教育ビジョンの「育てたい子ども像」の具現化と、これまでから幼児教育の中で大切に育んできた非認知的スキルの育成を柱とした保育の立案や実践、振り返りを行っている。あわせて、公開保育を複数回行う中で、学識経験者から指導を受けるとともに、他園・他校の保育者・教員と幼児教育について意見を交わし、自園の保育の見直しの機会に結び付けている。

幼小中一貫教育については、平成28年度に、全小学校と全保育所・全幼稚園間の連携協力校に指定されたことにより、幼児・児童の交流の機会が増え、活動の充実を図ることができた。

家庭や地域の幼児教育の向上に関しては、日々の保育はもとより園行事の機会を通じて幼児の生活の姿から幼児の発達や主体的に活動する遊びの大切さを発信する中で、保育や幼児教育への理解を深められた。

本園は、西乳児保育所と統合し、幼稚園機能と保育所機能を合わせ持った公立認定こども園への移行を目指しており、平成28年9月に「舞鶴幼稚園及び西乳児保育所の公立認定こども園移行基本方針」を策定した。

※公立幼稚園運営経費 46,717千円（在園児童数54名（H28.5.1現在））

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

- ・平成29年度も引き続き研究指定園として保育内容を深めていく。
- ・また、29年度に開催される城北中学校ブロックの小・中公開授業では、本園年長児と明倫小学校1年生の連携活動を、授業の1つとして公開する。
- ・家庭や地域の幼児教育の向上を支援するために、行事を活用した啓発と親子広場の充実に努める
- ・上記の取組について、平成29年度末に舞鶴市教育委員会研究指定園取組発表を実施する。
- ・公立認定こども園については、平成31年度春の開園を目指し、引き続き施設整備の進捗を図るほか、教育や保育内容など運営に関する事項の整理を行い運営計画の策定を進める。

担当課	幼稚園・保育所課
-----	----------

民生環境委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No. 9

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検評価項目	2 夢に向かい、力づく社会を生き抜く力を養成するための小中一貫した環境づくり					
	(1)魅力ある教育活動を展開し「生きる力」を培う学校づくりの推進					
	⑧保幼小中の連携充実					
具体的な取組内容	・子どもの教育について、保幼小中の0歳～15歳のシームレスな接続を目指した連携を推進します。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

舞鶴市乳幼児教育ビジョンに基づき、乳幼児教育の質向上研修や保幼小中連携研修、保幼小接続カリキュラム策定に向けた調査・研究、乳幼児教育ビジョンの普及・啓発を図る講演会や研修ニュースレターなどの発行等を実施した。（これらの事業は、文部科学省「幼児教育の推進体制構築事業」のモデル事業として採択を受けて実施している）

- ・保幼小連携研修の実施 3回
- ・保幼小中連携研修の実施 2回
- ・研修ニュースレター等の発行 11回
- ・保幼小接続カリキュラム研究（策定会議） 3回
- ・乳幼児教育ビジョンの周知・啓発
講演会2回、説明会2回、小学校出前授業1回、広報まいづる特集号1回
FMまいづる出演2回、日本保育学会シンポジウムでの報告・発表
保育・専門雑誌記事掲載、視察・調査受入等

※乳幼児教育ビジョン推進事業 8,855千円

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

0歳から就学前の乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要な時期であることから、発達段階に応じた豊かな遊びや生活・体験の中で、乳幼児期の終わりまでに育ててほしい子どもの姿や、乳幼児期に大切にしたいことを明らかにした「乳幼児教育ビジョン」に基づく取組の更なる充実を図る。

平成29年度は、引き続き保幼小中連携研修会等を開催し、保幼小中の連携強化を図るとともに、昨年度立ち上げた保幼小中接続カリキュラム策定会議において、保幼小中接続カリキュラムの策定に向けた研究とカリキュラム素案の作成に取り組む。

担当課 幼稚園・保育所課